



暮らしに寄り添う

黒石原自治会長
二瀬 義継さん

黒石原自治会

顔の見える関係の
第一歩



自治会への加入を直接呼びかけました

4月、役員が自治会に入っていない世帯を訪問し、資料を配って加入を呼びかけました。不在のお宅には資料を投函しました。初めての取り組みでしたが、その場で加入された人もいました。自治会の必要性や活動内容を直接お話することで、安心して加入してもらえたと思います。声をかけ、顔の見える関係をつくるのが大切だと気づきました。

自主防災訓練を実施しました

7月19日、黒石原コミュニティセンターで実施した自主防災訓練。さまざまなメディアで活躍している防災クリエイターの柳原志保さんを講師に招き、災害発生後の避難生活で課題となるトイレについて考えたり、非常用のトイレを体験したりしました。訓練を通じて、自治会は災害時にインフラが復旧するまでの初動対応を担い、地域の皆さんの生命と生活を守る“要”であることを改めて感じました。

災害発生時の
行動スキルの向上へ



新たな取り組みを行なう自治会も

情報発信・共有の強化

自治会ホームページやSNSの自治会専用アカウント開設、アプリの電子回覧板などを活用しています。



より良い自治会活動へ

多くの人に自治会に加入してもらうためアンケートを行ない、自治会活動にフィードバックしています。



自治会への加入をお願いします

自治会は、ごみステーションの管理や公園の清掃、防犯・防災、高齢者の見守りなど、私たちの暮らしを支えています。行政だけでは対応が難しい地域の課題も、住民同士の協力によって解決につながります。自治会は、自分たちの暮らしを守り、住みよいまちをともに作る場です。誰もが安心して暮らせる地域を未来へつなぐために、できることから一緒に始めてみませんか。

特集記事へのご意見や感想もお待ちしております。

●問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 ☎096-248-1112



▲ご意見・感想は
こちらから

新たな自治会活動



永江団地自治会『N-kidsくらぶ』



こどもたちの 交流の場づくり

7月4日、永江ふれあいセンターで開催された『七夕まつり』。南ヶ丘小学校の児童が対象で、保護者を含む約30人が参加しました。

こどもたちは、願い事を書いた短冊の飾り付けや、ペットボトルなどの資源に関するクイズ・ゲーム、かき氷・ポップコーンの提供などを楽しみました。



『N-kidsくらぶ』とは

永江団地自治会では6年程前に子ども会の活動がなくなりました。親世代は他の地域から来た人が多いのですが、こどもたちは永江団地がふるさtoになります。大人になったときに良い思い出として残るようなふるさとづくりをしたいと考え、自治会や老人会、民生委員児童委員などからボランティアを募り、発足させたのが『N-kidsくらぶ』です。

これまでに、竹とんぼづくりやグラウンドゴルフ、秋祭り、餅つきなどを行ない、多い時には100人近いこどもたちが集まりました。今後もこどもたちの交流の場を作っていきたいと思います。



『N-kidsくらぶ』会長
織田 幹夫さん

参加者の声

去年引っ越してきたときに、友達が永江団地のいいところをたくさん教えてくれました。その恩返しがしたくて、願い事は「永江団地がもっとたのしくなりますように」と書きました。



南ヶ丘小学校5年
松川 陽花里さん

おいしい食べ物も
食べられたし、
笹の葉に短冊も
飾ることができて
楽しかったです。



南ヶ丘小学校6年
福元 章人さん

こどもたちが集まる場を
作ってもらって
大変ありがたいです。



参加者の保護者
今村 星大さん

